

会 議 録

| | | | |
|--------------------|---|------|----|
| 会 議 名 | 第20期小金井市公民館企画実行委員の会議 第4回 | | |
| 事 務 局 | 公民館 本館 | | |
| 開 催 日 時 | 平成20年12月 2日(火) 午前10時から正午 | | |
| 開 催 場 所 | 公民館本館 | | |
| 出 席 委 員 | 上田委員、遠藤委員、大森委員、加藤委員、末包委員 | | |
| 欠 席 委 員 | | | |
| 事 務 局 員 | 松本係長、風間主査、和田主事、渡辺社会教育主事 | | |
| 傍 聴 の 可 否 | 可 | 傍聴者数 | なし |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会 議 次 第 | <p>1 議題</p> <p>(1) 近況報告</p> <p>(2) 「月刊こうみんかん」の市民編集委員について</p> <p>(3) 公民館主催講座について</p> <p>(4) 公民館研究大会について</p> <p>(5) 福社会館まつりについて</p> | | |

会議結果

司会：加藤委員 今日、午後も連絡会が予定され多忙なので、早速はじめたいと思います。

先ず、議題ですが、特に時間のかかりそうなものはありますか？

渡辺： いえ、通常どおりです。

加藤委員：近況報告からお願いします。

1 近況報告

和田：公共施設予約システムは、稼動から3年が経過しました。6月稼動に向けて、3月からカードの登録をされた団体については、12月より更新のお知らせが届くことになります。切替は、年間650団体ほどになると思います。予約の際に画面に、その旨の表示が出ます。更新のメールについては、アドレスのある団体について、メールでお知らせすることになります。

末包委員：アドレスをもっていない団体は、どうなるのですか？

高齢の方の団体については、持っていないほうが多いのではないですか？

和田：部屋の利用に来ていただいた際に、お知らせをお渡しするのですが、メールでやりとりをしていくことを前提として、このシステムがつくられているというところがあります。

加藤委員：それは、高齢者差別につながりませんか？

渡辺：新規の際もパソコンを、使えないという団体については職員が対応しながらやりました。いままでどおり公民館に来て予約できます、ということでやってきました。更新についても公民館に来ていただいた団体には、お知らせできるようにしています。

大森委員：更新のお知らせというのは、画面を見てははっきりわかるのですか？

和田：期限が切れると、赤く目立ちます。

大森委員：それと、1枚のカードですべての施設が使用できるようになるという統一は、実現しそうですか？

和田：やはり難しいです。栗山健康運動センターが指定管理に移行するという事なども関係して、ここでの統一は無理です。

大森委員：わかりました。ただ、将来的には統一に向けて努力してください。

加藤委員：こういった、大切な議論は公民館運営審議会のなかで、きちんと議論されてもいいかもしれませんね。メールができてあたりまえ・・・ということで済ますのではなく、使えない方々に不利益にならないような講習会を持つとか、情報の問題、世代の問題をきちんと議論していくべきですね。

末包委員：そうでないと、落ちこぼれになってしまいますからね。

和田：ITサポートで、その方法を説明できるように、体制をとりながらやっています。

渡辺：国分寺市もとまち公民館からの依頼の件ですが、1月21日の午前ということで準備をすすめています。趣旨、目的ですが、今、国分寺市の公民館においても市民協働ということがテーマとなっていて、企画実行委員の制度が参考になるのではないかと思います。1月の企画実行委員の会議のとき各館に呼びかけます。

末包委員：それがいいですね。最低、各館ひとりの企画実行委員が参加してくれるといいですね。

大森委員：もとまち公民館では、何人くらい来られるのですか？

渡辺：数名だと思います。

2 「月刊こうみんかん」の市民編集委員について

渡辺：「月刊こうみんかん」の市民編集委員については、公民館基本方針のなかで要望されまして、その要望のなかで、まず、できることからやりましょう、ということで実施することになりました。

加藤委員：情報化と市民編集委員ということがありましたが・・・

渡辺：今回は、「月刊こうみんかん」の市民編集委員ということに絞らせていただきました。予算措置がされていないなかで、まったくのボランティアでということなのですが、興味のある方がいましたら、ぜひ声をかけてください。もし、昼間の時間帯は無理だけれども、協力は出来る・・・そういう方がいましたら、準備会の午前中の参加は無理でもご連絡ください。

末包委員：そうですね。その方の希望を聞いていただけると良いと思います。

3 公民館主催講座について

松本：成人学校はチラシの内容のとおりとなりました。音楽をとりあげるのは、久しぶりです。遠藤委員の提案で実現しました。

末包委員：講師の肩書きのところで、わざわざ男声合唱団指揮者ということで、「男声」とあるのですが、この表示は必要なのですか？指揮者は男性がやるという・・・

松本：そういう意味ではないのですが、逆に昼間働いている男性に来てほしかったというのがありました。小金井には女声合唱団は、いくつかあるのですが、男声合唱はないということがあったのです。

遠藤委員：そういうことで、あえてこうしようかということになったのですが、やはり「男声合唱団指揮者」と表現することには抵抗もありますね。

末包委員：そうですか。そういう経過があつてのことならいいのではないのでしょうか。

加藤委員：私も、他の地域でゴスペルをやっています。ちょうどこの日に重なっていますが、どこでも男性は貴重・・・という状況ですね。

上田委員：30人募集ですね。それを超えたらどうします？

松本：30人定員でお断りということでもないと思います。施設の許す範囲で、対応したいと思います。

遠藤委員：最終会にはライブをやりたいと思っています。

渡辺：異世代交流講座は、「外あそび、うちあそび」というテーマで、別紙のような案でいかがでしょうか？

上田委員：外あそびは、雨の場合どうなるのですか？

渡辺：中止でしょうね。雪ならやりようもありますが・・・

松本：順延はどうでしょう。

渡辺：検討してみましよう。

上田委員：単に遊びましよう、ということにとどまらないで一緒に食べていく、交流をしていくというような活動になっていければいいです。

渡辺：将来、そういう展望をもちながら・・・ということですね。なかなか、急にそこまではいけないでしょうけど。

大森委員：親の参加はどうするのですか？

渡辺：もちろん受け入れます。ただ、微妙な問題がありますね。一面から言って、父親・・・まあ、母親も含めて、伝統的なあそびや、手作りのあそびを親自身に知ってもらいたい、という意味があります。そういう意味では、親の世代に参加してもらいたい。ただ、他方、子どもにとっては、親がいることでどういう影響があるのか。家族単位の参加、ということ想定しているわけではありません。

上田委員：昔の子どもは、親に隠れて遊ぶということでした。ところが、今は、親が子どもに携帯を持たせてでも管理したい、というふうになってきています。

大森委員：やりながら、今後の方向を考えていくことでいいのではないのでしょうか。

上田委員：他の館が、子どもの関係講座を止めている中では、本館の事業は大切に今後も続けていくことが大事だと思います。

大森委員：異世代の交流というとき、どの層にターゲットを絞っていくのかということですが、子どもは外せないと思います。

加藤委員：楽しいという経験をしてもらい、それを伝えていってもらえればいいと思います。

和田：男女共同参画講座は、チラシにあるとおり、全7回の講座となりました。産婦人科の医師不足や子育て環境の問題がクローズアップするなかで、父親が子育てをしている三鷹の子育てネットワークの方、NPO法人フローレンスの方などをお呼びします。お一人、まだ連絡が取れない講師の方がいます。1月15日号の市報に掲載予定です。

末包委員：単なる子育て講座でなく、ワークライフバランスがひとつの中心になるという思いがあります。

渡辺：タイトルにインパクトがちょっと不足しているような気がします。ワークライフバランスを問題にしたいなら、その言葉を使うかどうかは別にして、なにかそういう雰囲気が出るタイトルがあればいいと思います。

和田：タイトルについては、もう一度準備会で話します。

大森委員：シングルマザーフォーラムの方をお呼びしているので、シングルマザーを奨励しているのか・・・ということを使うひとがいましたね。そうならないようにすることは必要ですか。

加藤委員：そういう人がおかしいわけで、きちっと話していけばいい問題です。

松本；子ども人権講座は、昨日で全6回の講座が、盛況のうちに終了しました。61名の応募があり、平均30名の出席がありました。感動したという感想もいただいでいて、かつて不登校の経験を持つ方で今は大学院生の生のお話を聞くことが出来て、そのこともよかったということです。来年度も継続します。予算枠としては、少年教育事業のなかで実施します。12月9日13時から、生活室で反省会を予定しています。

子ども体験講座のバードウォッチングですが、小学生5人、親5人の参加。快晴に恵まれていろんな鳥を見ることができました。

カラス、ハト、ヒヨドリ、セキレイ、カモ、モズ、サギ、イイギリなどが見られて、熱心に辞書を持って調べていました。

4 公民館研究大会について

渡辺：公民館研究大会は、いよいよ、12月14日に迫ってきました。報告集会の会場に制約があって、参加者を別紙のようにさせていただきました。参加できない方もおられるわけですが、小金井独自の報告会を12月16日に行います。来年の大会の事務局は小金井市です。来年に向けての構想などありましたら、その

| | |
|-------------|---|
| | <p>際出していただけたらと思います。</p> <p>末包委員：大森さんが、参加されないのに時刻表を調べてくれました。8時10分に集合して武蔵小金井8時19分発で行きましょう。八王子に8時42分。横浜線への乗り換え8時55分の大船行きで町田に9時18分に到着します。</p> <p>5 福社会館まつりについて</p> <p>渡辺：12月15日(月)午前10時から福社会館2階で、準備会をもちます。</p> <p>加藤委員：これは、どういうふうに対応するのですか？</p> <p>渡辺：義務というより、ぜひご参加くださいということです。</p> <p>渡辺：忘年会か、新年会はいかがでしょうか？年末はお忙しいようですね。1月16日(金)5時半から7時半を候補とします。</p> <p>次回：1月6日(火)午前10時から公民館本館で</p> |
| <p>配布資料</p> | <p>別紙1 「公共施設予約システム利用者登録カード更新のお知らせ」</p> <p>別紙2 「福社会館祭り準備会」チラシ</p> <p>別紙3 「月刊こうみんかん 市民編集委員募集」チラシ</p> <p>別紙4 「成人学校」チラシ</p> <p>別紙5 「男女共同参画講座」チラシ</p> |